

## 上智大学 4本柱の継続と新たな支援のステージへ

### 1. 新たな支援のステージへ

2009年度から3年間にわたり実施した女性研究者支援モデル育成事業「グローバル社会に対応する女性研究者支援」をはじめとする様々な国際化事業の実績と新たな将来構想が評価され、本学は2014年9月「スーパーグローバル大学創成支援（グローバル化牽引型）」に採択された。

今後、上記事業の調書に示した女性教員数比率の向上、両立支援施策やグローバル・メンター制度をブラッシュアップし、更に先導的試行に挑戦する。

### 2. 2014年の活動

男女共同参画推進室の活動も3年目に入り、継続事業の安定的な実施とともに、グローバル企業や地域と連携し活動の場を広げている。

#### 【キャリア形成】

・昨年から行っているグローバル企業との連携事業として、8月に「理系女性のキャリア2014」を本学で開催し、約100人が参加した。本学も企画段階から共同で準備を進め、異業種のグローバル企業（ボッシュ株式会社、日本ロレアル株式会社、日本マイクロソフト株式会社、マイクロソフトディベロップメント株式会社、）が集まり、学生たちにとって多様なキャリアパスを現役のエンジニアや研究者から聴ける貴重な一日となった。

・グローバル・メンターとして登録している海外の研究者の来日に際し、主に分野を同じくする学生や研究者が一同に会し、研究はもとよりキャリア形成のアドバイスを受け相談会を実施している。今後は理工系だけでなく、全学的な取組みとして制度の充実と拡大を図る。

・女性研究者が学会等の中心的な役割を果たすべく、男女共同参画推進室が開催準備や当日運営を協力、今年度は「数論女性の集まり」を本学で開催した。

#### 【ワーク・ライフ・バランス】

・実施3年目を迎えた研究支援員制度は男性研究者へも制度が浸透し、利用者の男女割合が逆転した。利用者の学部間の偏りもあまりなく、全学的に利用されていることが特長としてあげられる。今後は介護等も含めた制度の充実を検討する。

#### 【意識改革】

・千代田区の男女共同参画センターとの共催講座や外務省主催イベントの連動企画シンポジウム等を実施し、学内のみならず地域や省庁と連携し多様なイベントを企画した。

・女性研究者や女子学生の支援を行う一方で、男性にフォーカスしたロールモデル集を発行予定(11月)。男性教職員が身近なモデルとなって仕事と家庭の両立を示すことにより、男子学生の意識啓発に有益な情報を提供する。

#### 【次世代育成】

・中高生へ理系の面白さを紹介すべく、オープンキャンパスで現役女子大生による相談コーナーの設置や本学教員による「ひらめき☆ときめきサイエンス」や教育提携校での実験教室を実施した。特に実験教室では、補助として参加している大学院生が生徒と交流することにより成長の場となっている。

・本学の活動が注目され、講談社「Rikejo」の2014年1月号に紹介記事が掲載された。また、一連の次世代育成のイベントを通じて、本学を志望し実際に入学した新入生もでてきている。

---

#### 【連絡先】

上智学院男女共同参画推進室

TEL:03-3238-4052 FAX:03-3238-4052 E-mail:wrsswg@sophia.ac.jp

URL: <http://danjokyodo-sophia.jp/>



# 上智大学 4本柱の継続と新たな支援のステージへ



## 2014年「スーパーグローバル大学創設支援事業 (グローバル化牽引型)」に採択!

### 千代田区男女共同参画センター共催講座

### 意識啓発



2014年11月8日開催  
 女子高生・女子学生を対象とした「自分の心とからだを守る講座」  
 講師：中島幸子氏 (NPO 法人レジリエンス代表)  
 「好きって気持ちで、ごまかしてない?縛られてない?」  
 講師：徳永瑞子教授 (上智大学総合人間科学部看護学科)  
 「自分のからだをもっと知ろう!」

### 上智パープル・アクション



本学の学生に「人権」を身近な概念として認識してもらうことを目的に、11月25日の「女性に対する暴力撤廃の国際デー」から「世界人権デー」までの10日間、キャンパス内にてテーマカラーの紫を身につけパネル展示等を実施。

### ロールモデル集 第4集「男の仕事と育児の両立編」を発行



女性研究者を紹介した、第1、2、3集に続き、男子学生にも職場環境やパートナーへの理解を深めてもらうことを目的として、本学の男性教職員のワーク・ライフ・バランスやキャリアパスの多様性を紹介。(2014年11月)

### 世界的女性リーダー3名との対話イベント

2014年9月14日開催  
 「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム  
 World Assembly for Women in Tokyo :  
 WAW ! Tokyo 2014」関連イベント

パネリスト：  
 シリン・シャルミン・チョードリー氏  
 (バングラディッシュ史上初の女性国会議長)  
 タワックル・カルマン氏  
 (2011年にノーベル平和賞を受賞したイエメン「革命の母」)  
 メラニー・バービアー氏  
 (国際女性問題担当として初の米国大使)



### ニュースレター・推進室 HP

ニュースレター  
 2014年3月、7月発行



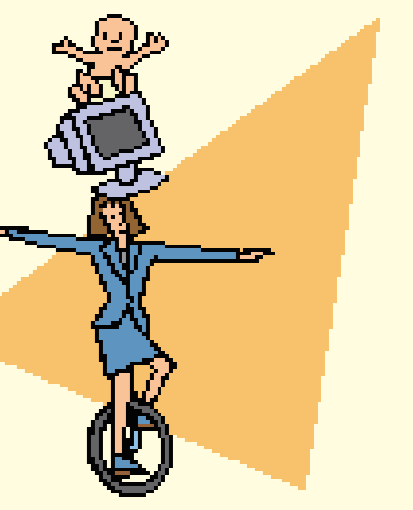
男女共同参画推進室 HP  
 随時情報発信

### 研究支援員制度

## ワーク・ライフ・バランス

研究者がワーク・ライフ・バランスを保ちながら研究活動を行うための環境づくりを目的とし、2012年度より運用。実施3年目をむかえ、利用者の研究分野や所属する部局も多岐にわたっており、今年度には男性教員が女性教員の利用率を上回った。また、本制度を利用する教員が研究支援員のロールモデルやメンターとしての役割も担っており、研究支援員の育成といった波及効果も出ている。

所属	2012年度			2013年度			2014年度		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
総合人間科学部	1	2	3	1	1	2	1	0	1
法学部	1	1	2	1	2	3	2	1	3
経済学部	0	1	1	0	1	1	0	2	2
外国語学部	0	1	1	1	2	3	1	1	2
国際教養学部	1	3	4	1	2	3	0	2	2
理工学部	4	2	6	3	2	5	4	1	5
総合グローバル学部	-	-	-	-	-	-	1	0	1
聖母大学	0	1	1	0	0	0	-	-	-
短期大学部	0	1	1	0	1	1	0	1	1
社会福祉専門学校	0	1	1	2	0	2	2	1	3
合計	7	13	20	9	11	20	11	9	20



### グローバル企業との連携事業

## キャリア形成

2014年8月8日開催  
 ボッシュ株式会社主催「理系女性のキャリア2014～理系女性×外資系×リアル」  
 大手外資系企業3社がタッグを組んで、就活にこだわらず「理系女性として働くこと」、「外資系で働く女性のリアル」について講演。

登壇企業：ボッシュ株式会社  
 日本ロレアル株式会社  
 日本マイクロソフト株式会社  
 マイクロソフトディベロップメント株式会社  
 ゲストスピーカー：経済産業省男女共同参画・子育て担当 関万里係長



### グローバル・メンター相談会 今後理工系中心から全学的に展開予定

2014年4月22日開催  
 メンター：清華大学 童愛軍教授、向宇准教授  
 2014年6月2日開催  
 メンター：コロンビア大学 Nina Berova 教授  
 2014年7月29日開催  
 メンター：アリゾナ大学 Natasha Warner 教授



### グローバル育成奨励賞



理工学研究科の女子学生を対象に、国際的に活躍する女性研究者への第一歩として助成することが目的。今年度は多くの応募者の中から9名が受賞。

### 受賞者短期留学報告

石田 真子 (理工学研究科理工学専攻 情報学領域 荒井研究室)  
 留学期間：2014年4月1日～2014年8月7日



アメリカ・ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校 心理学科 Dr. Arthur Samuel Lab にて、音韻修復 (物理的に存在しない音を脳が補完して聞く能力) に関する音声知覚実験を行った。今後は実験結果を踏まえて、聴覚情報処理のメカニズムを多角的に探していきたい。

### 研究集会「第7回数論女性の集まり」

2014年5月31日開催  
 数少ない数論関係の女性研究者・院生が全国から集まり互いの研究内容を知る機会を持つことを目的として開催。今年度は中筋麻貴准教授 (理工学部情報理工学科) が中心的世話人となり、初めて上智大学にて女性研究者を支援する男女共同参画推進室との共催で開催した。



## 次世代育成

### 資生堂サイエンスカフェ in 上智大学

2014年3月15日開催  
 「第6回資生堂女性研究者サイエンスグラント」受賞者である本学理工学部物質生命理工学科の鈴木由美子准教授が中高生を中心とした参加者を対象に、自身の研究内容や研究者になるまでのライフストーリーを紹介した。  
 講師：鈴木由美子准教授 (理工学部物質生命理工学科)  
 ファシリテータ：蓑田裕美氏 (資生堂サイエンスコミュニケーター)



### 上智福岡中学高等学校 出張実験教室

2014年3月26日開催  
 上智福岡中学高等学校の生徒のほか、福岡雙葉学園の生徒も参加して、大学で行われている最先端研究の一部を体験。さらに、自分の近い将来をイメージしてもらおうと、身近なロールモデルとして本学の理工学研究科、理工学部在籍の学生も参加し、大学生活や研究内容について紹介した。  
 講師：齊藤玉緒教授 (理工学部物質生命理工学科)



### オープンキャンパス「未来のソフィちゃん、集まれ!」

2014年7月31日～8月2日開催  
 本学をめざす女子高生を対象に、現役女子学生による相談ブースを設置 (法・経・理工学部) また社会で活躍するOGをパネル紹介した。



### 講談社「Rikejo」 本学のリケジョを紹介

2014年1月発行



### ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～

2014年12月13日・14日 2日間開催予定  
 高校生対象  
 「ルービックキューブと数学～新しい数学の世界をのぞいてみよう～」  
 講師：中筋麻貴准教授 (理工学部情報理工学科)

